

美波町病院事業経営改革プランの実施状況について

平成23年度の美波町病院事業経営改革プランの実施状況について、美波町病院事業経営改革プラン評価委員会において、この経営改革プランに掲げられた経営指標及び数値目標等について、点検・評価を行い、10月4日にその結果を美波町長に答申しました。

この答申内容について、次のとおり公表いたします。

美波町病院事業経営改革プランの実施状況について（答申）

1. 各病院ごとの、財務に係る数値目標について検討をしたところ、平成23年度計画に対して、実績では、

- 経常収支比率については、
日和佐病院では106.0%で0.2%下回っている。
由岐病院では98.2%で5.9%下回っている。
- 職員給与費比率については、
日和佐病院では99.6%で39.8%多くなっている。
由岐病院では59.7%で7.1%多くなっている。
- 病床利用率については、
日和佐病院では74.4%で12.7%下回っている。
由岐病院では39.6%で34.4%下回っている。
- 医業収支比率については、
日和佐病院では63.2%で36.6%下回っている。
由岐病院では83.9%で9.0%下回っている。
- 外来患者数については、
日和佐病院では1日あたり74.3人で25.7人下回っている。
由岐病院では1日あたり104.6人で45.4人下回っている。

以上のような結果となっており、各項目については、多少の差異はあるが、両病院ともに外来患者数の減少があり、それに伴い入院患者数も目標値に対して大きく下回っているため、更なる努力が必要である。

2. 両病院の運営状況を検討した結果、日和佐病院の累積欠損金は332,289千円で過大な金額が計上されており、資金不足を21年度は134,000千円、22年度は114,000千円、23年度は89,000千円の借入金で補っている現状であり、運営は大変厳しい状況である。由岐病院について、9,561千円の単年度赤字であったが、資金不足はない。

このようなことから、美波町病院事業あり方検討委員会から、平成23年12月に出された「美波町病院事業のあり方について（答申）」による新しい医療体制（1病院1診療所）の整備を早急に行い、経営状況の改善を行う必要がある。

3. 現在、美波町医療体制整備方針に基き、美波町立病院建設検討委員会において、新しい町立病院の基本構想や施設の整備等について検討・協議を行っているところであり、住民が安心して医療を受けられるよう早急に整備することが望まれる。